

接続確認のしかた（動作チェック）（つづき）

地上デジタルチューナーの確認（地上デジタルチューナー標準装備ナビゲーションシステム）

ナビゲーションの『ソース』キーを押し、ソース選択画面から [DTV] を選択します。
デジタルTVチューナーの取付要領書を参照し、地上デジタルチューナーの動作チェックを実施します。

バックカメラの確認（バックカメラ付ナビゲーションシステム）

下記の手順でバックカメラの映像を確認します。

1. 車両のパーキングブレーキを確実にかけます。
2. イグニッションキーをONにします。
3. 車両が動かないようにブレーキを踏んだまま、シフトレバーをリバースに入れ、カメラの映像を確認します。

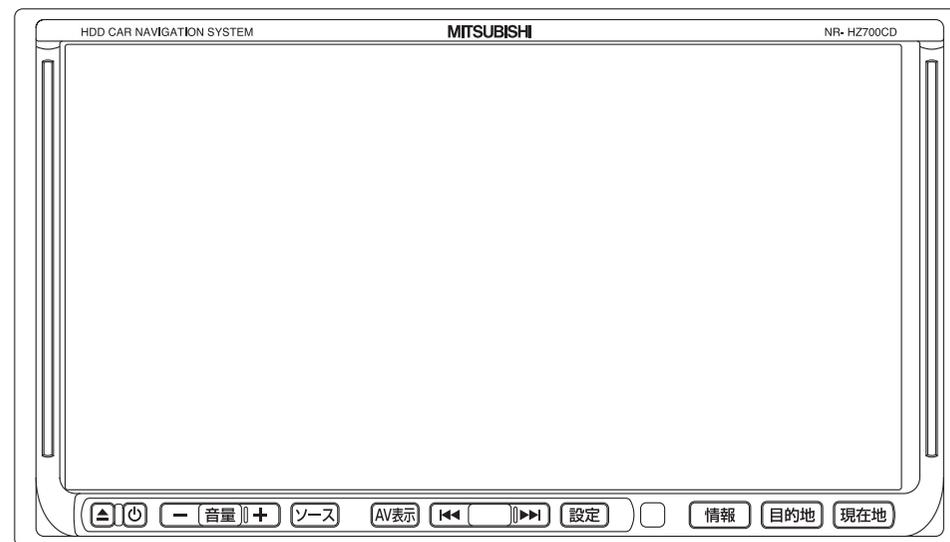
MITSUBISHI

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

NR-HZ700CD シリーズ

取付要領書



 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)

07-08 N871L67838

 VICS®

目次

はじめに

ご注意とお願い 2

取付要領

アンテナ、地上デジタルTVチューナー、バックカメラの取り付けかた 5
ナビゲーションユニットの取り付けかた 7
GPSアンテナの取り付けかた 10

接続要領

接続のしかた／ナビゲーションシステム（地上デジタルTVチューナー無し） 11
接続のしかた／ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム 13
接続のしかた／ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム 15
接続のしかた／ナビゲーションシステム（バックカメラ付） 17
接続のしかた／システムアップ例 19
コネクターの脱着について 20
ブレーキ信号の取り出しかた 20
車速信号について 20
圧着式コネクターの使いかた 21
リバースコードを接続する 21

接続確認

接続確認のしかた（動作チェック） 22

ご注意とお願い

●取り付けおよび接続作業の前に「取付要領書」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。
絵表示は次のような意味を示しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



してはいけない「禁止」の行為を示します。



必ず実行していただく「強制」の行為を示します。



「注意」（警告を含む）を示す内容を示します。



警告

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



禁止

24V車で使用しない

●本機はDC12Vアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



禁止

運転操作を妨げる場所に取り付けない

●前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグ動作を妨げる場所には取り付けない

●エアバッグシステム装備車の場合、エアバッグシステム動作の妨げになる場所に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に機能せず危険です。

ご注意とお願い (つづき)



保安部品のボルトやナットは使用しない

●車体のボルトやナットを使用して機器を取り付けたり、アースをとるときは、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、事故や発火の原因となります。



燃料タンクなどに穴をあけない

●車体に穴をあけるときは裏側に何も無いことを確かめ、燃料タンクなどに穴をあけないように注意してください。また配線を傷つけないように注意してください。



バッテリーを接続したまま配線しない

●配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。⊖端子を外さずに作業するとショート事故による感電やけがの原因となります。



タコ足配線をしたくない

●電源コードの被覆を破って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。コードの電源容量をオーバーし、火災、感電の原因となります。



コード類はまとめておく

●コード類は運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



規定容量以外のヒューズを使用しない

●ヒューズが切れたときは、規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



すべての電装品の動作を確認する

●取り付けと配線が終わったら、すべての電装品が元通り正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



分解、改造はしない

●機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。



注意

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



本機取り付け・配線には、専門技術者に依頼する

●取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため必ず“お買い上げの販売店”に依頼してください。



本機を車載用として以外は使用しない

●感電やけがの原因となることがあります。



説明書の指示に従い配線する

●「取付要領書」の指示に従い配線してください。正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。



高温になる所へは取り付けない

●熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くには取り付けないでください。機器が加熱し、火災の原因となることがあります。



通風孔や放熱板をふさがない

●機器の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



指定以外の部品を使用しない

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



コードのはさみ込みに注意する

●車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



コードの被覆を傷めない

●車両部品のバリ（部品加工時にできる鋭利な突起）や鋭利な場所にコードが接触する場合は、コードの被覆を傷めないように必ずクッションテープなどで保護してください。火災や感電の原因となることがあります。



本機を不安定なところに取り付けけない

●本機を振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けけないでください。走行中に機器が落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。



エアバッグ装着車は、車両メーカーの注意事項をよく確認する

●エアバッグが誤動作する原因となることがあります。



はがれないようにしっかり取り付ける

●取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて、事故の原因となります。時々点検してください。（フィルムアンテナなど）



貼付許容範囲内に取り付ける

●国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法（貼付許容範囲内）に貼り付けないと、道路運送車両法違反となります。貼付許容範囲については、本書の「貼付位置について」をご覧ください。



水のかかるところやほこりの多いところへは取り付けない

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。機器内部に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

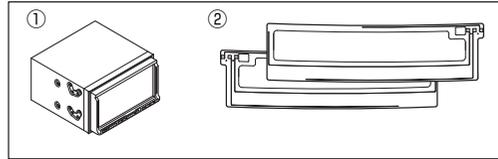
アンテナ、地上デジタルTVチューナー、バックカメラの取り付けかた

各システムの取付要領書については6ページの「各機器取付要領一覧」を参照してください。

ナビゲーションシステム (地上デジタルTVチューナー無し)

- ①ナビゲーションユニット
- ②アナログTVチューナー用フィルムアンテナ

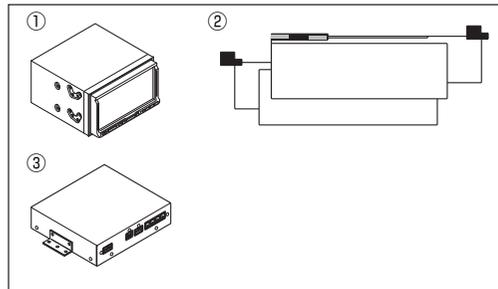
→接続のしかた 11、12 ページ参照
システムアップ例 19 ページ参照



ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム

- ①ナビゲーションユニット
- ②ハイブリッドアンテナ
- ③ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー TU-200D

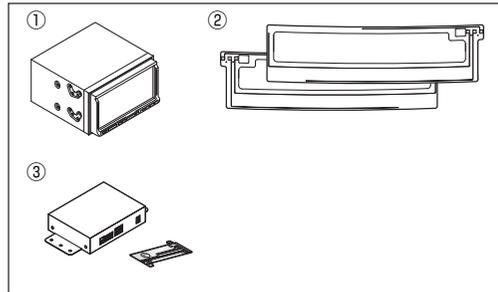
→接続のしかた 13、14 ページ参照
システムアップ例 19 ページ参照



ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム

- ①ナビゲーションユニット
- ②アナログTVチューナー用フィルムアンテナ
- ③ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー TU-050D+ フィルムアンテナ

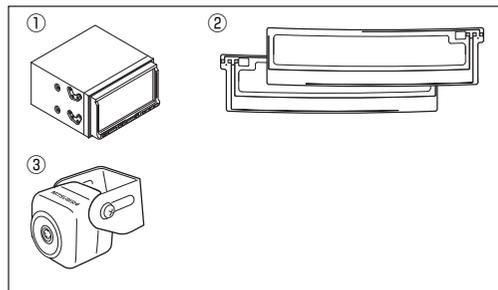
→接続のしかた 15、16 ページ参照
システムアップ例 19 ページ参照



ナビゲーションシステム (バックカメラ付き)

- ①ナビゲーションユニット
- ②アナログTVチューナー用フィルムアンテナ
- ③バックカメラ

→接続のしかた 17、18 ページ参照
システムアップ例 19 ページ参照



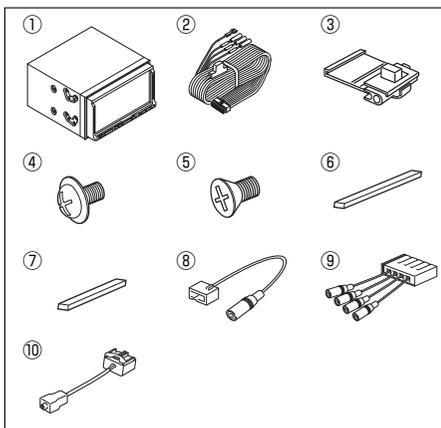
各機器取付要領一覧

	ナビゲーションシステム (地上デジタルTVチューナー無し)	ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム	ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー標準装備ナビゲーションシステム	ナビゲーションシステム (バックカメラ付き)
アナログ用フィルムアンテナ	○ 「アナログTVチューナー用フィルムアンテナ取付要領書」参照	-	○ 「アナログTVチューナー用フィルムアンテナ取付要領書」参照	○ 「アナログTVチューナー用フィルムアンテナ取付要領書」参照
ハイブリッドアンテナ	-	○ 「ハイブリッドアンテナ取付要領書」参照	-	-
ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー TU-200D	-	○ 「TU-200D 取付要領書」参照	-	-
ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー TU-050D+ フィルムアンテナ	-	-	○ 「TU-050D 取付要領書」参照	-
バックカメラ	-	-	-	○ 「バックカメラ取扱説明書」参照
ナビゲーションユニット	本書7ページ~参照			

ナビゲーションユニットの取り付けかた

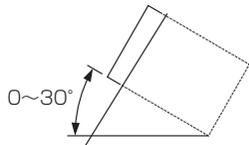
構成部品

- ① ナビゲーションユニット 1
- ② 電源コード (ナビ用) 1
- ③ 圧着式コネクタ 3
- ④ 座付ネジ (M5 × 6) 8
- ⑤ サラネジ (M5 × 6) 8
- ⑥ クッションテープ (L=184) 4
- ⑦ クッションテープ (L=100) 2
- ⑧ FM VICS コネクタ 1
- ⑨ アナログ TV アンテナコネクタ 1
- ⑩ バックカメラ接続ケーブル 1

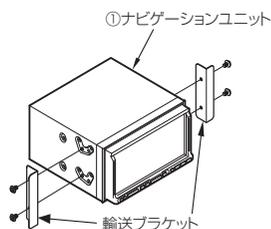
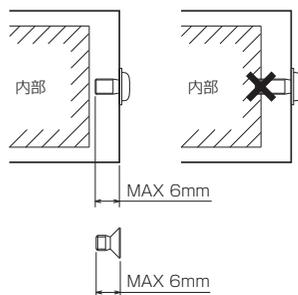


ご注意

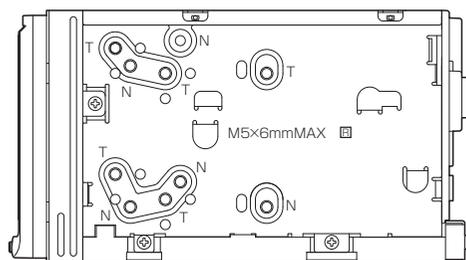
- 取り付けの際は、必ずモニター部が完全に収納された状態で行ってください。収納が不完全な状態で取り付けると故障の原因となることがあります。
- 特にオートマチック車の場合は、モニター部開閉の際にシフトレバーと接触しないことを確認してからご使用ください。
- 取り付け角度は、水平～30°の範囲でご使用ください。範囲外で使用した場合、故障の原因となります。



- 取り付けには、必ず付属のネジを正しくご使用ください。
- 車両への取り付け前に輸送ブラケットを外してください。



取り付けネジ穴

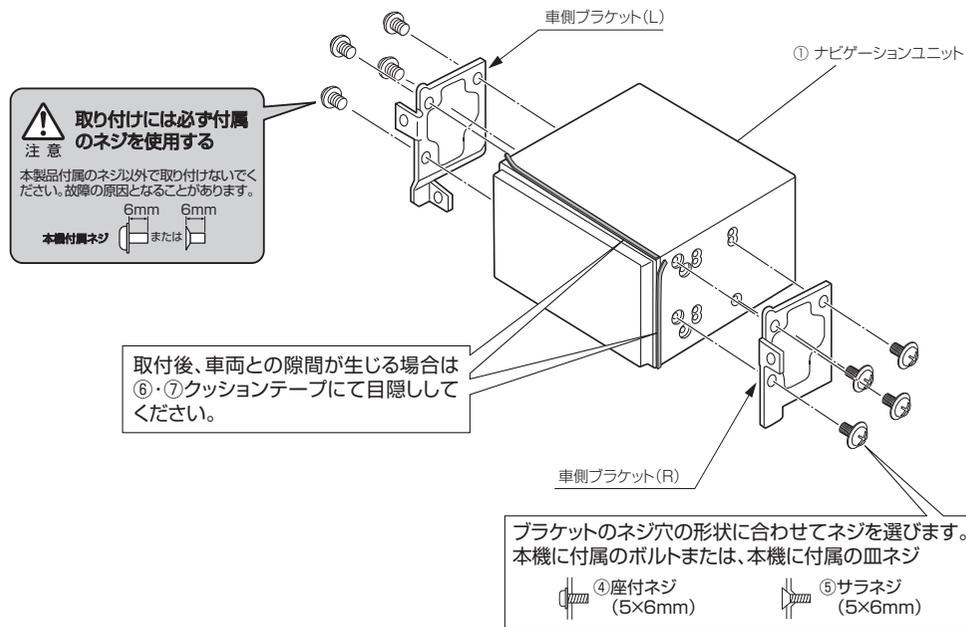


記号	車メーカー名
T	トヨタ
N	日産

取り付け例

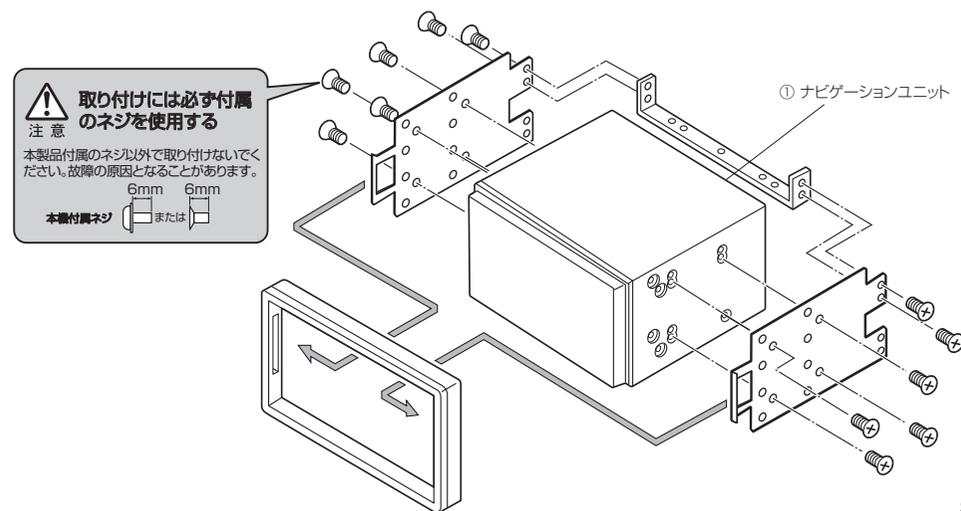
トヨタ・日産・三菱車に取り付ける場合

- 既設の車側ブラケットを用いて取り付けます。年式、車種、グレードにより、専用取付キット (市販の取付キット) が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。



ホンダ車に取り付ける場合

- 標準取付キット (市販の取付キット) を用いて取り付けます。



取付要領

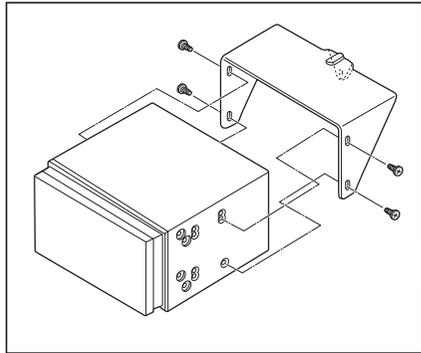
取付要領

ナビゲーションユニットの取り付けかた (つづき)

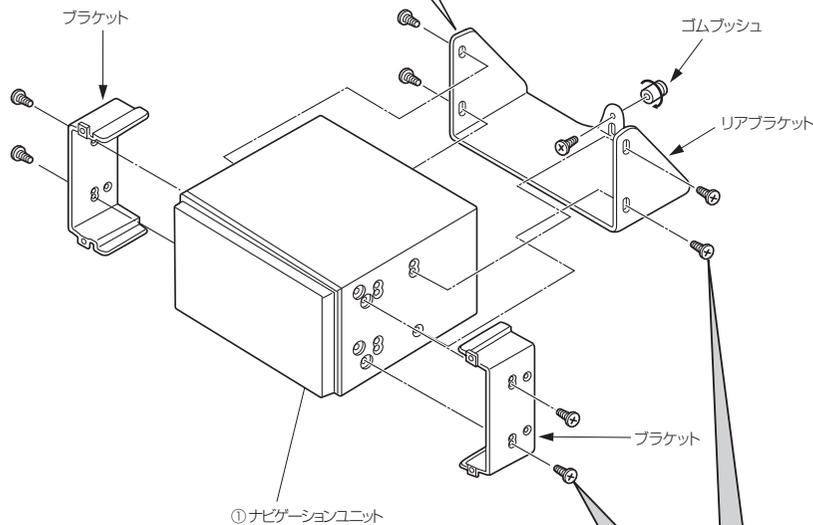
..... 取り付け例

マツダ車に取り付ける場合

●標準取付キット（市販の取付キット）を用いて取り付けます。



●後面の接続コードが、リアブラケットと干渉し装着しづらい場合、車両側にゴムブッシュ挿入穴が上、下段に設けられている車種については左図のようにリアブラケットを逆にし、取り付けが可能です。

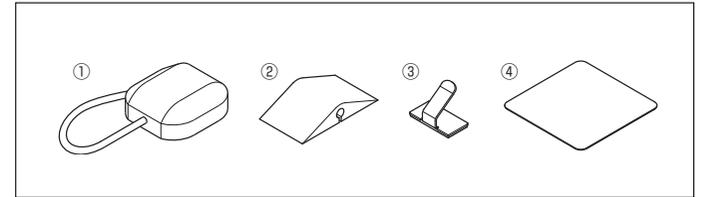


注意
取り付けには必ず付属のネジを使用する
 本製品付属のネジ以外で取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。
 本製品付属ネジ 6mm または 6mm

GPS アンテナの取り付けかた

構成部品

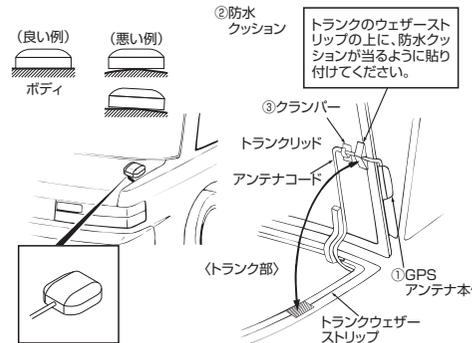
- ① GPS アンテナ..... 1
- ② 防水クッション..... 1
- ③ クランパー..... 2
- ④ グランドプレート..... 1



取り付けかた

トランクリッドに取り付ける場合

●GPS アンテナ本体は磁力で付くようになっていますが、しっかりと取り付けるために、平らな面に取り付けてください。



アンテナのケーブル長が不足する場合は、別売 GPS アンテナ延長コード (LEAD-ANT94-5 5m) を使用してください。

フロントダッシュボードに取り付ける場合

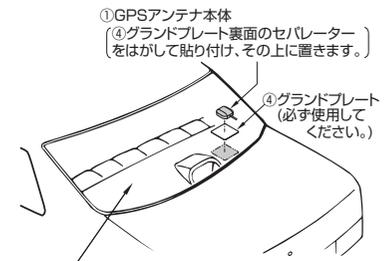
●GPS アンテナ本体はダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。

（ダッシュボード中央付近に GPS アンテナ本体を設置するとセンターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。）



リヤトレイボードに取り付ける場合

●GPS アンテナ本体は、リヤトレイボードのリヤガラスに近い位置に取り付けアンテナコードはリヤトレイボードのすき間におし込みます。



●熱線リヤガラス及びリヤガラスアンテナ装備車は取り付け位置により GPS 衛星からの電波が受信しにくい場合があります。
 ・車室外取り付け時と同程度の受信感度が得られる場所に設置してください。
 ・一部の特殊ガラスを採用している車では電波が遮断され受信できなくなるので、トランクリッドまたはフロントダッシュボードへ取り付けてください。

！注意事項

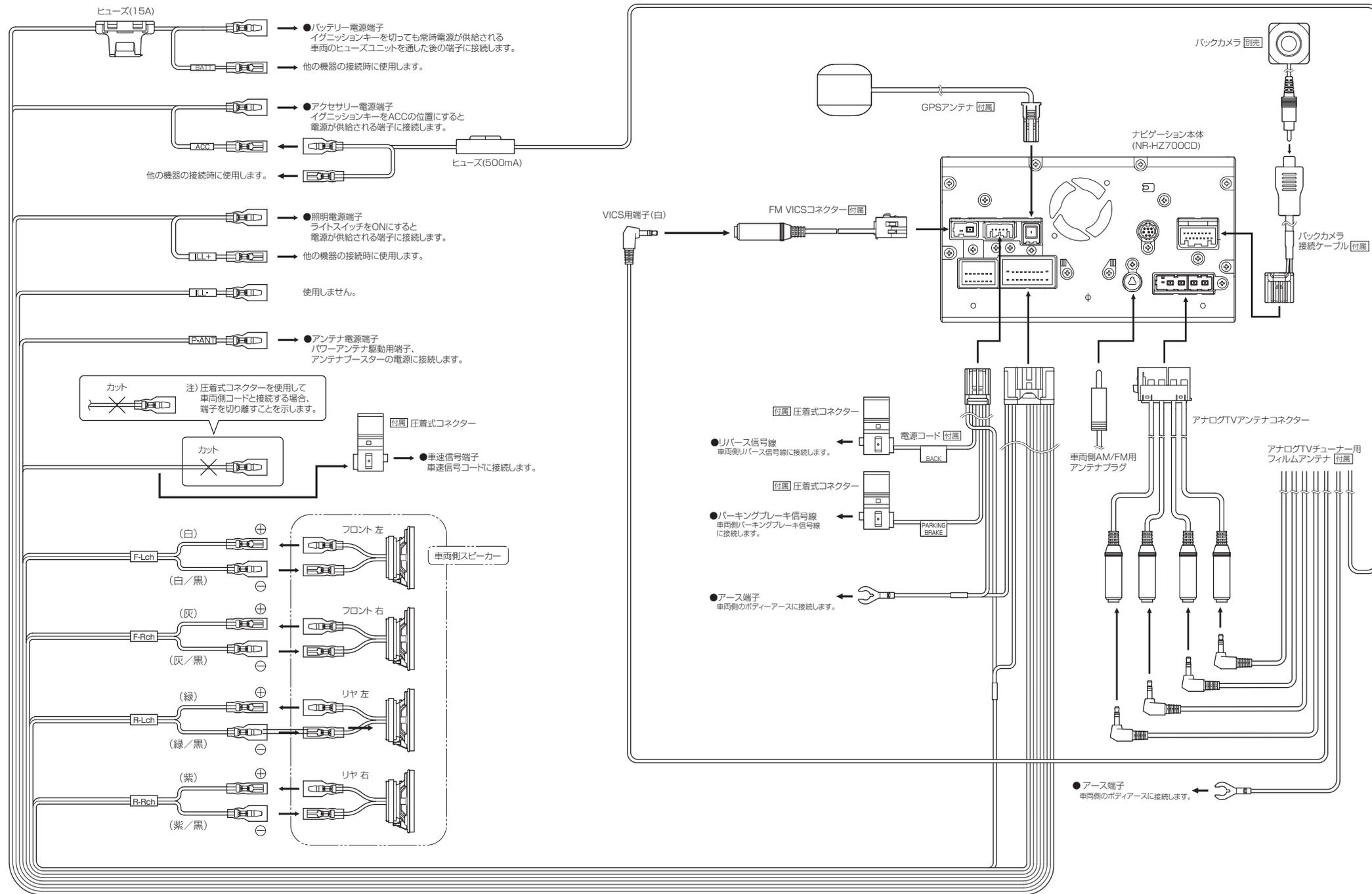
●GPS アンテナ本体を車内に取り付ける場合、必ずグランドシートを使用してください。またグランドシートを小さくする等の加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
 ●GPS アンテナ本体の設置場所は、GPS 衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。
 ●GPS アンテナコードは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。
 ●GPS アンテナコードの配線はテレビやラジオのアンテナコードから離してください。近づけて配線するとテレビやラジオに妨害を与えることがあります。
 ●GPS アンテナ本体は、ナビゲーションシステム本体、周辺機器及びそれらの接続コードの近くに取り付けしないでください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となることがあります。

取付要領

取付要領

接続のしかた / ナビゲーションシステム (地上デジタルTVチューナー無し)

本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。



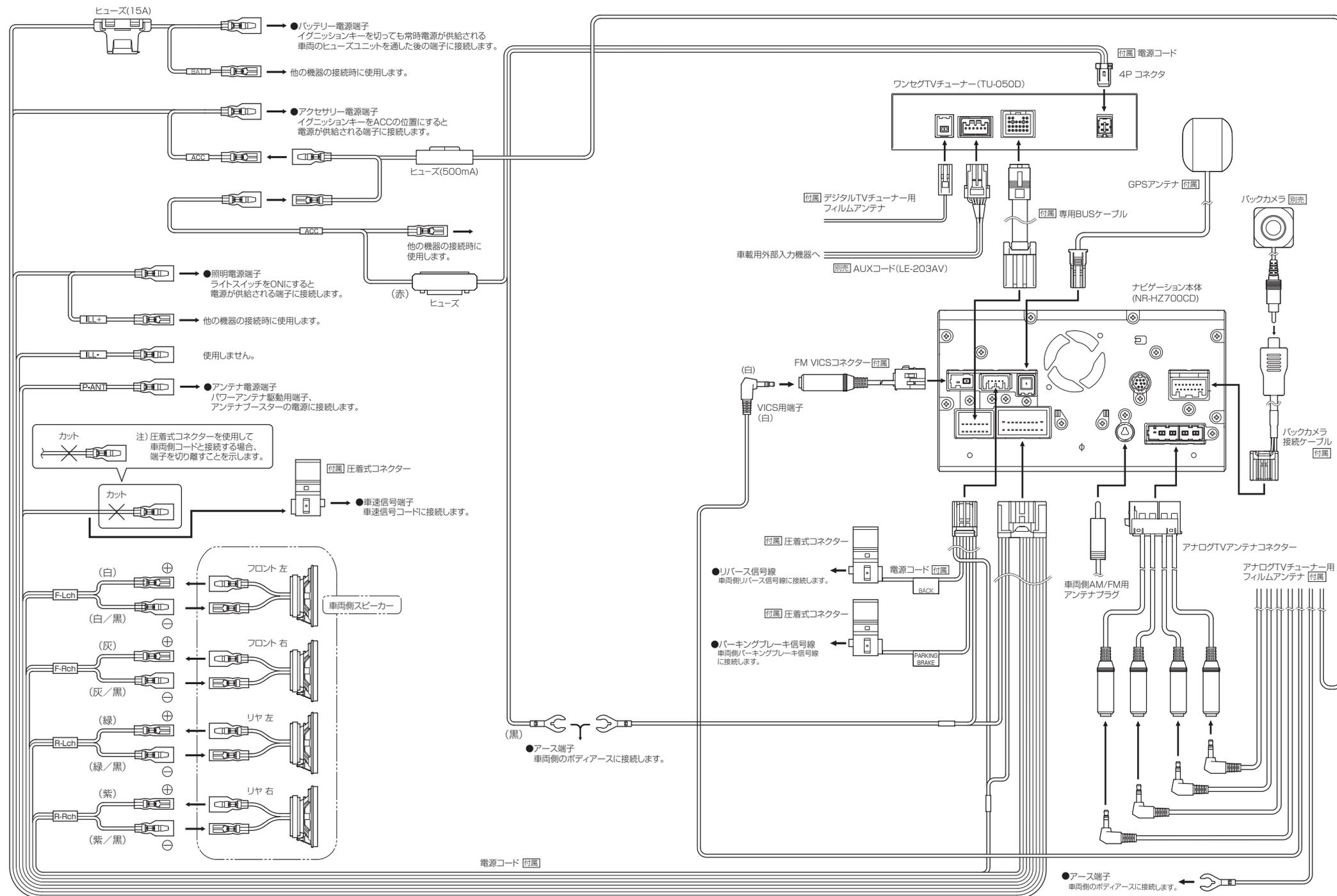
電源コード (付属)

接続要領

接続要領

接続のしかた / ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー 標準装備ナビゲーションシステム

本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。

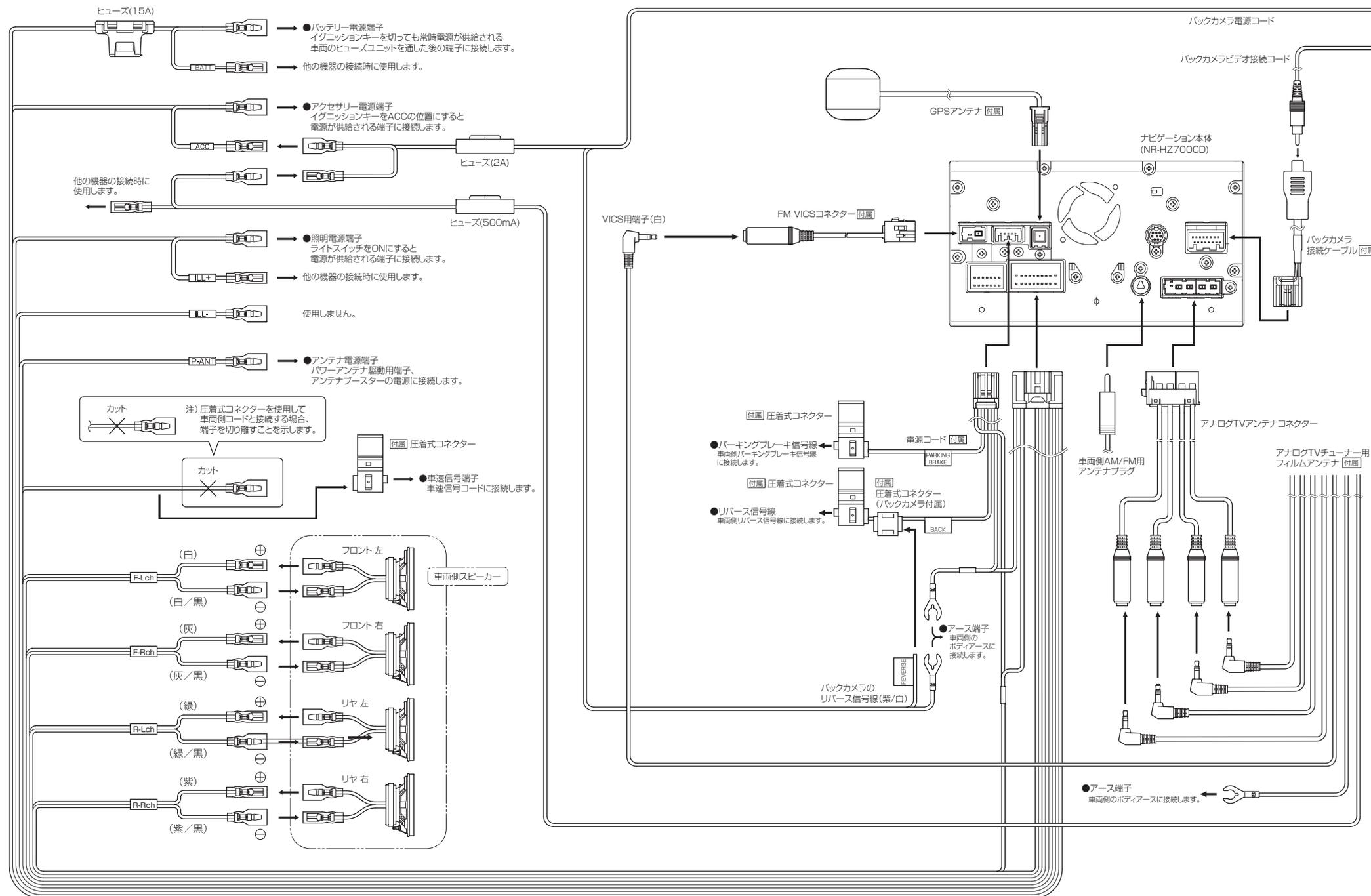


接続要領

接続要領

接続のしかた / ナビゲーションシステム (バックカメラ付)

本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。



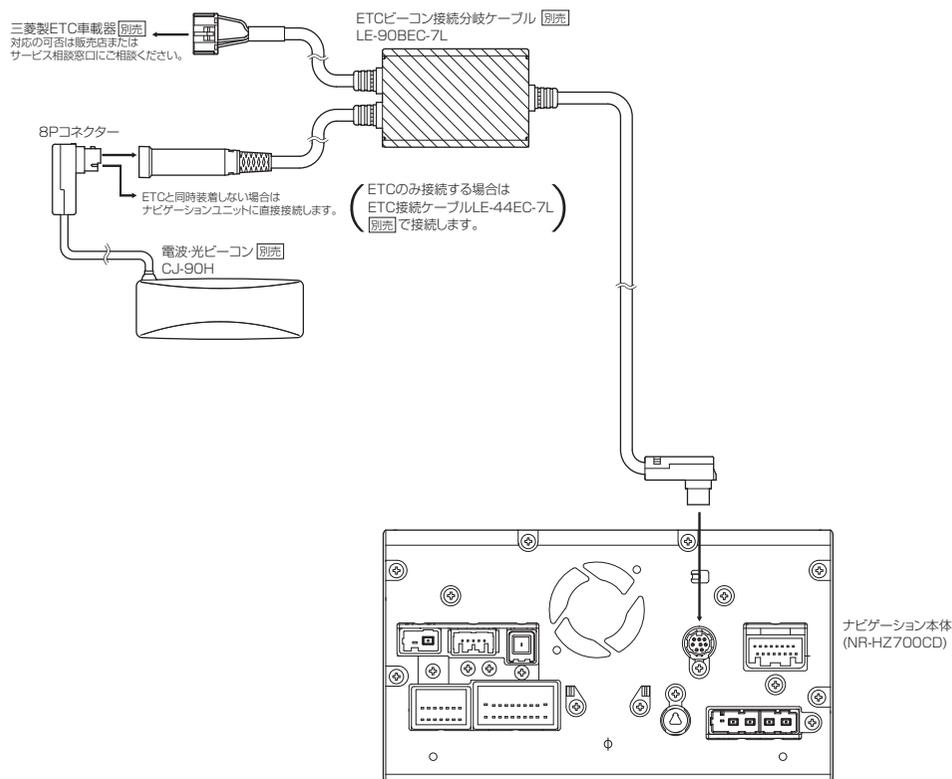
接続要領

接続要領

接続のしかた／システムアップ例

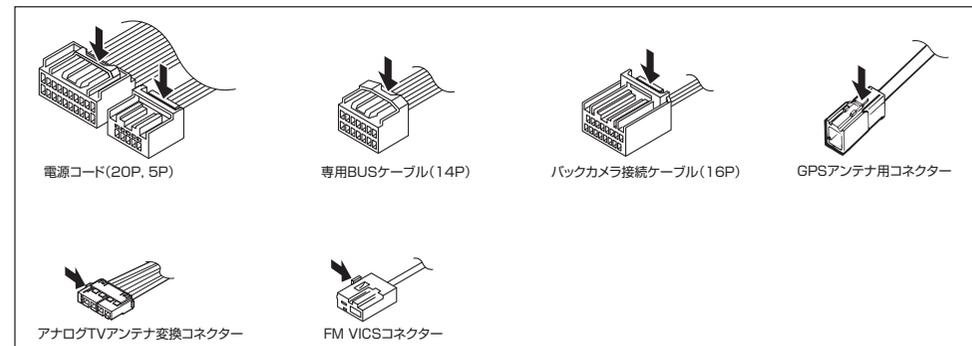
本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。

ここに記載されている接続例は、ほんの一例です。お買い上げの製品のシステムアップについては、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。



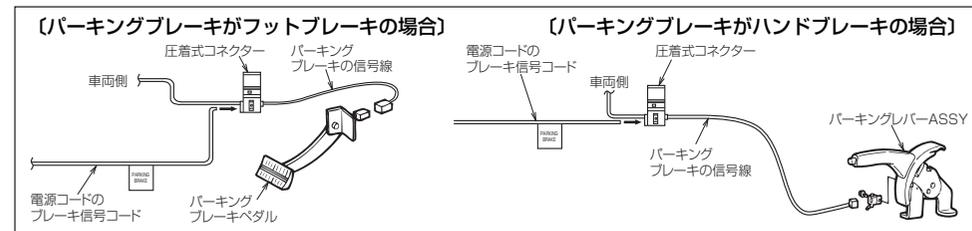
コネクタの脱着について

各コネクタ接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。



ブレーキ信号の取り出ししかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。詳細については、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。）へご相談ください。



車速信号について

■ 車速信号の取り出しについて

- 車速信号は主にエンジン電子制御装置（ECU）に接続されている車速信号コードより取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認等配線作業が容易に行えるためです。

■ 車両側車速信号コードの位置は

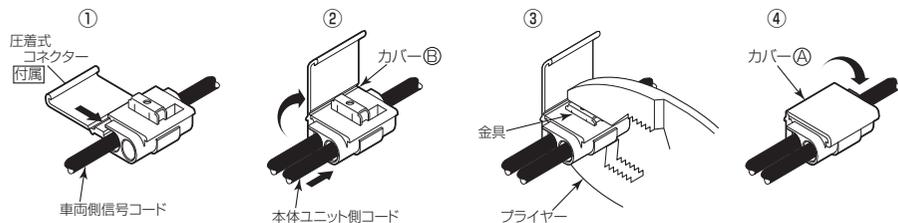
- 車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

お願い

配線終了後、P.22 “接続確認のしかた（動作チェック）” をご覧になり、車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

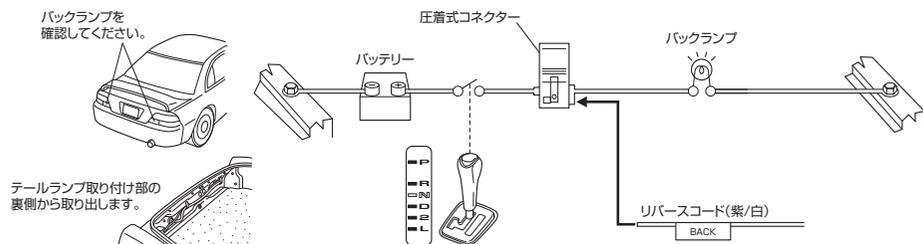
圧着式コネクターの使いかた

- ①車両側信号コードから信号を取り出す位置を決め圧着式コネクタ内に通します。
- ②カバー③を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクタに差し込みます。
(側面に当たるまでコードを差し込んでください。)
- ③上面の金具をプライヤー等ではさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定します。
(コードが外れないように確実に固定してください。)
- ④カバー④を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。



リバースコードを接続する

チェンジレバーをリバース (R) に入れたとき点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線にリバースコード (紫 / 白) を接続してください。



接続確認のしかた (動作チェック)

1. 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを〈ACC〉または〈ON〉にし、ナビゲーションシステムを立ち上げます。オープニング画面表示後、自動的に現在位置画面になります。
2. GPS 測位を確認します。
ナビゲーションの『情報』キーを押し、メニュー画面から **車両位置情報** を選び GPS が測位していることを確認します。GPS 受信まで数分かかることがあります。(メニュー画面の見かたは付属の“ナビゲーション取扱説明書”の「ナビ機能」「各種情報を調べる」を参照してください。)
3. 動作チェックを行ないます。
ナビゲーションの『設定』キーを押し、メニュー画面から **機能設定** → **車両取付確認** を選び、各項目の動作チェックを行ってください。(画面の見かたは付属の“ナビゲーション取扱説明書”の「その他の機能」「システムの設定」を参照してください。)

！注意事項

各項目のチェック結果で NG となった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4. 車速・ジャイロの初期設定 (自動) を行ないます。見通しの良い場所をしばらく走行します。
(車速パルス数は時速 20km 以上の一定速度で直線道を数 km 走行することで、自動的に初期設定されます。)
5. 初期設定を確認します。
ナビゲーションの『設定』キーを押し、メニュー画面から **機能設定** → **システムの補正** → **センサ補正** を選び画面を確認します。
(センサ補正の確認は“ナビゲーション取扱説明書”の「その他の機能」「システムの設定」を参照してください。)

手順 5 で車速パルス数の表示が「-----」の時は、初期設定が完了していないか車速度信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、上記 4～5 を繰り返してください。

ご注意

- 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。
- 車種・年式・エンジン型式により車速パルス数が異なりますので、ナビゲーションユニット本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

- 自車位置精度は上記“接続確認のしかた”による初期設定完了後、GPS の受信状態の良い時に、直線道を一定速度で走行しますと自動補正が働き、徐々に精度が向上していきます。

自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。
見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。

- これらの作業が終了しますと、直線走行 1km につき約 10m の自車位置精度を得ることができます。